

## 5. 財務諸表に対する注記

財団法人熊本市国際交流振興事業団  
平成23年3月31日現在

### 1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について  
投資有価証券の評価基準は、満期保有目的のため償却原価法（定額法）を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
耐用年数1年以上及び取得価額相当額20万円以上の資産については、定額法により減価償却を行っている。  
(取得価額－残存価額) × その資産の耐用年数に応じた定額法の償却率
- (3) 引当金の計上基準  
退職給付引当金…… 職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度で発生していると認められる額を計上している。  
(期末要支給額と中小企業退職金共済機構外部積立金との差額不足分)
- (4) リース取引の処理方法  
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- (5) 消費税等の会計処理  
消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期未残高	当期増加額	当期減少額	当期未残高
基本財産				
投資有価証券	169,971,272	9,874,655	10,000,000	169,845,927
基本財産積立金	10,000,000	0	0	10,000,000
額面差額調整預金	28,728	141,113	15,768	154,073
小計	180,000,000	10,015,768	10,015,768	180,000,000
特定資産				0
退職給付引当資産	4,010,000	0	0	4,010,000
額面差額調整資産	58,644	15,768	27,566	46,846
事業推進資金積立金	7,652,000	500,000	0	8,152,000
小計	11,720,644	515,768	27,566	12,208,846
合計	191,720,644	10,531,536	10,043,334	192,208,846

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	169,845,927	(169,845,927)	0	—
基本財産積立金	10,000,000	(10,000,000)	0	—
額面差額調整預金	154,073	(154,073)	0	—
小計	180,000,000	(180,000,000)	0	—
特定資産				
退職給付引当資産	4,010,000	0	(4,010,000)	0
額面差額調整資産	46,846	0	(46,846)	0
事業推進資金積立金	8,152,000	0	(8,152,000)	0
小計	12,208,846	0	(12,208,846)	0
合計	192,208,846	(180,000,000)	(12,208,846)	0

### 4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は次のとおりである。

(単位：円)

科目	帳簿価格	時価	評価損益
投資有価証券	169,845,927	172,255,520	2,409,593
合計	169,845,927	172,255,520	2,409,593

### 5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
受取民間助成金	阿蘇くまもと国際線振興協議会	0	60,000	60,000	0	
合計		0	60,000	60,000	0	

### 6 指定正味財産からの一般正味財産への振替額の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産 6 千万円国債利金 (前期分)	450,000
基本財産 1 億円公営企業債利息収入 (前期分)	700,000
基本財産 1 千万円国債利金 (前期分)	40,000
基本財産 6 千万円国債利金 (後期分)	450,000
基本財産 1 千万円国債償却減価	4,471
基本財産 1 億円公営企業債利息収入 (後期分)	700,000
基本財産 1 千万円定期預金利息収入	25,000
基本財産 1 千万円国債償却減価	515
基本財産 6 千万円国債償却減価	10,782
合計	2,380,768

## 収支計算書に対する注記

### 1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未払金、前受金、預り金、未収金、仮受金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

- ・未収金内訳 第4期指定管理事業受託料、利用料金収入等
- ・未払金内訳 3月業務委託費、3月分賃金等、未払法人税等
- ・前受金内訳 翌年度利用料金収入、平成23年度賛助会費
- ・預り金内訳 3月分社会保険料、源泉所得税等

### 2 次期繰越金収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	2,558,155	14,981,369
未収金	49,018,131	36,994,704
前払金	0	55,700
合計	51,576,286	52,031,773
未払金	16,380,875	17,086,717
前受金	18,006,190	16,884,390
預り金	852,019	856,324
仮受金	598	0
合計	35,239,682	34,827,431
次期繰越収支差額	16,336,604	17,204,342